

# 高体連主催大会の新型コロナウイルス感染防止運営ガイドライン

2021年1月8日

## 1. 競技会・試合開催の判断基準

「サッカー活動再開に向けたJFAガイドライン」「競技会・イベント運営ガイドライン（奈良FA）改訂版」を元に最終的には、NFA感染対策責任者が判断・決定します。

### NFA感染対策委員会

感染対策責任者 山口 浩(専務理事)  
感染対策委員 倉内 清共(常務理事)  
吉村 拓也(技術委員長)  
北野 和好(事務局長)

高体連感染対策責任者 中留 学(委員長)  
高体連会場感染対策責任者 会場責任者  
チーム感染対策責任者 各チーム代表者1名

## 2. 試合当日までの感染防止対策

### (1) チーム

大会2週間前までに奈良県サッカー協会のHPより、「健康チェックシート」をダウンロードし、チームスタッフ、部員へ配布して下さい。試合当日までの2週間分の体温を記入し、全員分を大会当日に回収して、その内、当日エントリーの選手分とスタッフ分を本部へ提出して下さい。また、当日は試合終了後のベンチ消毒のため、雑巾、アルコール等の消毒用具の準備も各チームでお願いします。対戦チームとのユニフォームのカラー調整も事前をお願いします。

### (2) 保護者、OBへの事前通達

令和2年度新人大会におきましては、「完全無観客試合」で実施します。保護者、OBを含めたチーム関係者にはその旨、事前に連絡の徹底をお願いします。

### (3) 会場責任者

奈良県サッカー協会HPにある「各種チェックリストデータ」の「競技会運営用」のタグを参照し、各会場での感染防止対策の準備をお願いします。試合当日は予備の「健康チェックシート」の用意、可能であれば「担架」の準備もお願いします。

### 3. 競技会会場における感染防止対策

#### (1) 来場者対応

ピッチ内では可能な限り、関係者以外の方の入場を制限して下さい。会場入口またはピッチ入口には後日、会場長の先生方へ配信します「無観客試合」の張り紙を掲示して下さい。

#### (2) 本部の設置

できる限りテントを設置して下さい。本部内の人数は必要最小限に絞り、椅子の間隔も2m以上離して下さい。本部内では全員マスクを着用し、筆記具については私物の利用をお願いします。可能であれば「担架」の準備をして下さい。

#### (3) ベンチ

ベンチで間隔を空けて座れるよう、テント等で追加ベンチを設置してください。試合終了後は、使用したチームの責任の下、ベンチの消毒を行ってください。

#### (4) 朝のミーティングでの確認事項（感染対策に関して）

以下、試合運営上の確認に加え、簡潔に感染対策の確認をお願いします

##### ※ メンバー表提出（試合開始30分前まで）

- ・ メンバー表、選手証（一覧表）の提出に加え「チェックシート」（エントリー選手・スタッフ分）も提出
- ・ 「チェックシート」及び「来場保護者・関係者リスト」は本部より各チームへ返却後、1ヶ月間保管しておいて下さい

##### ※ 試合開始前のウォーミングアップ

- ・ 選手、チーム役員は、マスクをしなくてよい
- ・ 審判員はマスクをしなくてよい

##### ※ 試合開始前の、審判団による選手チェック及び用具チェックからキックオフまで

###### < 選手チェック >

- ① 各チームのベンチ前で副審が実施
- ② 副審はマスクを着用

###### < 選手及び審判団のピッチ入場～キックオフ >

- ③ 入場前の混雑を防ぐため、両チーム及び審判団は用具のチェック後、ベンチ前から

それぞれに入場し、キックオフに備える

- ④ 握手セレモニーは行わない
- ⑤ チームの集合写真撮影は認められる、但し、社会的距離（できるだけ2m、最低1m）を保つこと
- ⑥ コイントスは主審及び両チームのキャプテンにより実施する、但し、社会的距離（できるだけ2m、最低1m）を保つこと
- ⑦ ピッチ上で密になるような円陣は組まない

※ チームベンチ

- ① 1席分（社会的距離）を空けて座る
- ② 入り切らない場合は、ベンチを増やして対応する  
または、主審および両チームで事前に合意した所に待機場所を設定する
- ③ ベンチの選手及びチーム役員は、マスクを着用する  
但し、テクニカルエリアで指示を送る際は、マスクを外してよい  
競技中については、プレー及びアップ時以外はマスク着用とする
- ④ 不要な会話・接触は控える
- ⑤ 試合終了後は消毒液でベンチシートなどを拭き取る

※ 応援（エントリー以外の部員）

- ① 会場長の先生でエントリー以外の部員の（ゲーム中の）待機場所を設定して下さい
- ② 密を作る応援、声を出す応援、人と接触する応援は禁止する
- ③ 太鼓、メガホン、音響機器等の鳴り物の使用は禁止
- ④ 会場の許可、指導に添った横断幕の掲示はよいものとする

※ 試合中の飲水

- ① 原則飲水ボトルの共用を避ける
  - ・ たとえ口が直接触れなくても唾液が飛ぶ可能性があり、感染の危険性はある
  - ・ ペットボトルのピッチレベル設置、使用は可（但し、スクイズボトルタイプのキャップに交換する）。但し、使用したペットボトルは必ず破棄すること
- ② 氷水にスポンジを入れて体を冷やすことは、体を冷やすだけであれば容認される  
但し、スポンジで顔を拭うことは行わない
- ③ 選手が口を付けフタをしたボトル等をクーラーボックスに戻すことは、絶対に避ける

※ 飲水タイム

飲水ボトルの共用を避けることから、十分な水分補給の機会が見込めないため、WBG Tの数値に関係なく飲水タイムを設定し、パフォーマンス向上につなげる

※ ハーフタイム

- ① 選手、チームスタッフ、審判員等の引き上げ動線が混雑しないよう、予め確認する
- ②グラウンドの補修は、通常と同様に実施される

※ 試合終了時のセレモニー

- ・ 握手、ハイタッチ、抱擁は行わない
- ・ 社会的距離が保てる範囲でお互いの健闘をたたえあう
- ・ 選手、チームスタッフ、審判員は、各自でベンチ、本部に戻る
- ・ 本部への挨拶、対戦チームへの挨拶は、両チームが重なるため行わない

(5) ゴミの廃棄方法

会場でのゴミは持ち帰りとします。

公共の施設でゴミを収集する際には、マスクや手袋を必ず着用してください（大会本部で用意します）。ゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、廃棄してください。マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒してください。

これら(1)～(5)を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。参加チームは、その点を理解した上で、大会に参加してください。

競技会期間中に於いて、競技会に係る関係者、参加チームの選手、スタッフに感染者が発生した場合は、必ず、大会責任者及びNFA感染対策責任者に報告して下さい。以後の大会開催について協議し決定します。

#### 4. 事後対応

各チーム感染対策責任者は万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、大会当日の参加選手・スタッフの「健康チェックシート」を、保存初日の日付を明記した上で1ヶ月間保存してください。

また、競技会終了後14日以内に、具合の悪い選手・スタッフがいなかを再度確認の上、認められた場合は保健所の指示に従うとともに、委員長（高体連感染対策責任者）、奈良県FAにその旨報告して下さい。